

東日本ユニオン

# TOKYO

## 2016春季生活闘争妥結する

JR東日本労働組合東京地方本部

発行責任者 福田 高夫

発 行 東京地方本部教宣部

2016年 4月1日 NO. 24

3月31日に経営側は、やっと回答を出す

経営側は「過去最高の業績を上げた社員の努力に感謝する」と述べるが、その言葉が実感できない回答

4係数の定期昇給を実施  
所定昇給額の10分の1+定額500円  
満55歳以上の社員賃金改定を実施  
グリーンスタッフの基本賃金に500円を加算

夏季手当：基準内賃金の2.85ヶ月+2万円  
エルダー社員の精勤手当に1万円を加算

交渉団は「自らの質の向上を通して過去最高の決算を生みだした組合員・社員の努力に還元すべき」「組合員・社員の生活ができる賃金および手当を支払うべき」と強く主張しましたが、経営側は「過去最高の業績を上げた社員の努力に感謝する」とは述べるもの「収益が伸びたほどに利益が上がらず、判断には慎重さが求められる」「幅広くお客様から運賃をいただく当社は、世の中の動向も勘案する必要がある」との従来からの主張を崩しませんでした。

経営構想Vなどの会社施策を前進させるなら、働く者のやる気を引出すためにも満額回答をするべきだ！